

農業を通じて地域に愛され続ける企業を目指して 生産農家との協力体制を更に構築

株式会社 コッコファーム



年間100万人以上の来館者が訪れる複合商業施設たまご庵

農業生産法人(株)コッコファーム(菊池市森北、松岡義清社長)は、複合施設たまご庵の開設以来毎年100万人以上の来館者が訪れている。農業で地域活性化を目指す同社では今後も独自の発想で生産者と消費者をつなぐ架橋となっていく。



生産者とのコラボ商品を販売「トマトシュー」



朝食メニュー「朝食たまごかけごはん」



毎日多くの来館者で賑わう物産館

「農業を通じて地域に愛され続けること」をモットーに1969(昭和44)年に創業、今年で48年目を迎えた(株)コッコファーム(菊池市森北、松岡義清社長)の平成29年度スローガンは「顧客創造のスピード化」だ。お客様からのご意見を宝と心得、改善、提案し、自社商品、サービス、接客待遇、対応能力等において存在価値の高い企業を目指す目標を掲げている。また、創業から48年が経過した現在も「産みだすの温かい卵を直接、お客様へ」の想いは変わらず息づいており、同社ブランド「朝どりたまご」をはじめとした新鮮な農産物を販売している複合商業施設「たまご庵」には開店前から多くの行列ができています。菊池地域の情報発信基地として位置づけられている同施設には毎年100万人以上の来館者が訪れており、生産者、民間、行政などの情報ネットワークの拠点として重要な一翼を担っている。

謝の気持ちを込めた従業員及びその家族を対象にした従業員感謝祭などのイベントも企画している。松岡社長は「会社の理想を求めるとは全従業員の力が必要。全従業員で企業理念の浸透を深め、実践、成果を求めていきたい」と5年、10年後の未来像をみすえた従業員とともに歩む人員態勢構築も進めている。

HPを全面リニューアル
菊池の農産物を全国へ発信

生産者250人と登録販売契約を結んでいる同社では少子高齢化による農業生産人口の減少などの問題にも真摯に向き合っている。菊池市の基幹産業である農業の発展こそが次世代に誇れる菊池の魅力という思いからさまざまな取り組みを実施。生産者とのコラボ商品の開発や小学校での食育の推進、収穫体験会のほか若手生産者との意見交換会や勉強会などを通じて農業の魅力を発信している。また、10月には自社HPの全面リニューアルを実施。HP上で自社商品の販売はもちろんのこと、登録生産者の商品の販路拡大のための販促ツールとしてもつなげていく計画だ。

HPを全面リニューアル 菊池の農産物を全国へ発信

農業によるまちづくり構想を実現

農業によるまちづくり構想を推進するコッコファームでは農業を通じた地域活性化につながる方法などをテーマにした勉強会やセミナーなどを今後企画し、さまざまな活動を通じて地

域活性化の原動力となる取り組みを検討中である。

「この地域で事業をさせていただいている事に誇りを持ち地域と自然への感謝の気持ちを忘れず菊池地域にコッコファームがあつてよかったと言っていただけ企業像を追求していきたい」と松岡社長は強く語る。

今後もコッコファームの地元の活性化に向けた挑戦は続く。



profile

松岡 義清 社長
まつおか・よしきよ / 1976(昭和51)年5月7日生まれ、41歳。菊池市出身。95年(平成7)年藤野卵場中央研究所に2年勤務の後、97年(平成9)年コッコファームに入社。2007年取締役を経て11年1月に代表取締役に就任

DATA

| | |
|-------|----------------------------|
| 所在地 | 〒861-1312 熊本県菊池市森北1077 |
| T E L | 0968-24-0007 |
| F A X | 0968-24-5056 |
| U R L | http://www.coco-farm.co.jp |
| 創業 | 1969年 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 売上高 | 16億4,900万(平成28年12月期) |
| 従業員 | 140人 |
| 事業内容 | 養鶏および農産物生産販売、食品加工販売 |

採用情報

- 募集職種 / 総合職、生産、販売、加工、企画部門等
- 応募資格 / 高卒以上
- 募集人数 / 15
- 問い合わせ / 人事管理 田中